

## たくさんの人に囲まれて 八幡町の貫洞さん100歳に

八幡町の貫洞ミノリさん（大正5年生まれ）が、7月20日に満100歳の誕生日を迎え、貫洞さんが入所する介護老人保健施設さくら山で誕生会が行われました。出席した佐藤町長は「これからも長生きして、山田の復興を見届けてください」と言葉をかけ、長寿祝い金を手渡しました。また、会では職員による踊りも披露し、施設全体で貫洞さんをお祝い。涙を流し感激する貫洞さんは「今日は皆さんのおかげでとても楽しかったです。ありがとうございます」と話しました。



## 第12回岩手県相撲選手権大会 本町団体3位入賞の快挙

7月17日、山田町相撲場で第12回岩手県体重量別相撲選手権大会が行われ、団体戦には県内8チームが出場。本町からは五十嵐正さん（36）、佐藤肇さん（28）、佐々木拓海さん（17）が出場しました。8チームで行われた予選リーグを突破し、6チームで争う決勝トーナメントへ。初戦の二戸市を下し、惜しくも準決勝で滝沢市Aに敗れましたが、堂々の3位入賞を果たしました。中堅を務めた五十嵐さんは「重量級がない中よくやったと思う。良い大会だった」と振り返りました。

## 町内各地でおはやし響く

### 関口不動尊例大祭・荒神社例大祭



木々の緑に囲まれ、川のせせらぎだけが聞こえる静寂の中、年に一度のおはやしがこだまします——7月2日から3日にかけて、関口不動尊例大祭が行われました。2日は奥宮で神事が行われ、山田大神楽と関口不動尊神楽が舞を奉納。夕方からの宵宮祭では、里宮となる関口神社で、町内の郷土芸能が祭りばやしを響かせたほか、たくさんの露店が並びました。にぎやかな音色と露店の明りで、地区内は活気に包まれていました。



7月15日から16日にかけて、荒神社例大祭が行われました。荒神社から神輿船に2つの神輿が乗り、豊漁と安全を祈願。神輿の行く先々では荒神大神楽、灣台虎舞、山の内剣舞がにぎやかに祭りを盛り上げます。神輿は山の内漁港と船越漁港に降り立ち、荒々しい動きで厄を祓っていました。祭りの最後は担ぎ手たちもヒートアップ。「まだまだ祭りが終わってほしくない」そんな様子で、力の限り神輿を担いでいました。



# 町のわだい

今月の題字 長谷川 拓人君 (豊間根小6年)



## (仮称) 大沢トンネル築造安全祈願 災害から守る命の道路に

7月11日、大沢地区で「(仮称) 大沢トンネル (全長265 ㍎)」の工事安全祈願祭が執り行われました。このトンネルは大沢一浜川目間 (約2.8㍎) の大沢小付近に位置し、県道重茂半島線と国道45号を結ぶ道路の一部となるもので、浸水域を回避し、津波の際の孤立を防ぐように設計されています。祈願祭には関係者約80人が出席。住民を代表して大沢小 (及川輝美校長) 6年の福士希さんは「授業中の工事の音は気になりません。新しい道路は私たちの命の道路です」と早期完成を願いました。完成は平成29年度中となる予定です。

## 大沢川向地区で地鎮祭 待望の集会施設が着工

6月29日、大沢川向地区で「(仮称) 大沢川向コミュニティセンター」の地鎮祭が行われました。これは、(公財) 国際開発救援財団 (FIDR) が建設し、それを町に寄贈するもので、ことし中の完成が予定されています。地鎮祭に引き続いて行われた町との本契約締結式の中で、佐藤町長は「地元からの強い要望があり、今回着工に至った。FIDRからは発災以降多くの支援をいただいている」と謝意を表し、地鎮祭に出席した鈴木悟さんは「大沢地区全体の拠点として新しいコミュニティ活動をしていきたい」とこれからの思いを語りました。



## 町P連バレー大会 親同士の結束が深まる

7月3日、山田中学校体育館を会場に「第31回山田町PTA親睦ソフトバレー大会」が開催されました。ことしは総勢16チームが出場。お父さん、お母さんたちが繰り広げる手に汗握るシーソーゲームに、見ている子どもたちもハラハラドキドキ。がんばれー！がんばれー！と子どもたちの声援が体育館に響き渡ります。その声に後押しされて親たちは大奮闘。楽しそうな笑顔と、時に真剣な表情でバレーを楽しみ、以前にも増して親同士の親睦と結束が深まったようでした。見事ことしの優勝を飾ったのは船越小学校学校Aチームの皆さんでした。